

雲仙市地域公共交通協議会

平成20年 2月15日設置
平成20年 3月25日連携計画策定



事業概要

7町合併により誕生した雲仙市では、集落の多くは主要幹線沿いに形成されているものの、内陸部や山間部にも比較的規模の大きな集落があり、これらの集落の大部分は公共交通空白地域となっていることから、市内に点在する公共交通空白地域と既存の公共交通機関を結ぶ新たな移動手段として、乗合タクシーによる運行実証実験等を実施する。

○乗合タクシー運行実証実験【H20～21年度】

公共交通空白地域が広く分布している国見地域、瑞穂地域、吾妻地域、南串山地域を中心として、地域を単位とした駅間・バス停間を結ぶ乗合タクシーの導入を推進することとし、実際の利用者数や運行上の問題点等を把握するために、それぞれの地域において運行実証実験を実施する。

○広域農道(グリーンロード)を活用した運行実証実験【H22年度】

雲仙市の中心に位置する愛野町は、路線バス及び鉄道を利用して諫早方面に移動する際の拠点となっていることから、愛野～島原間の広域農道(グリーンロード)を活用した横軸路線における運行実証実験により、諫早・島原方面への移動手段確保について、その必要性と可能性を検証する。

○バス・鉄道等の待合環境の整備【H22年度】

路線バスや鉄道の利用活性化を図るために、雨天時でも快適に利用できる屋根付きバス停やベンチの設置を計画的に進めるとともに、駅舎周辺に植栽を行う等、快適な利用環境の創出により生活交通の維持確保を目指す。

